

第46号

2018年3月発行

【発行元】
港区芝地区総合支所協働推進課
発行部数30,000部

芝地区 地域情報誌

『芝地区地域情報誌』は、地域の皆さんとともに創る情報誌です。芝地区の「いい話」を紹介したり、さまざまな行事や活動の情報を交換したり、地域の皆さんと一緒に地域のことを考えていく場として、地域情報誌を発行しています。

国際異文化交流会の情景 於・ラ・メゾン・ド・クスクス



Tunisia-Middle East Restaurant
La maison de CousCous ラ・メゾン・ド・クスクス ～本質と商の融合～

مطعم اكالات عربية حلال
ハラールのアラブ料理レストラン

国際化のすすむ港区
～芝公園でハラールのチュニジア料理を囲み国際交流を楽しむ～



北アフリカ北端、地中海に面しイタリアと対面する国、チュニジア共和国。南はサハラ砂漠につながり、かつて映画スターウォーズのロケ地にもなった。

太古はカルタゴの繁栄地であり、ベルベル人に始まり、ローマ、アラブ、フランス等の人々に支配された。その歴史ドラマの中に多民族の文化、風土、心のクロスオーバーによる建設的な人的交流理念が育まれてきたチュニジアである——生粋チュニジア人の若いオーナーシェフにも宿る、この理念を具現化させた国際異文化交流会がある。

夜7時に会が始まると、アラブ音楽の流れと共にハラール※1のチュニジア料理※2が運ばれる（下料理写真参照）。エキゾチックなアラブのお酒や神秘的な味のスイーツ、ナッツたくさんのティーも——おしゃべりが始まると話題は色々、自国のこと、趣味や家族のこと、人生哲学そして恋愛論まで、それぞれのテーブルごと言葉の花が咲く（英語はじめ、アラビア、フランス、イタリア、スペイン、スリランカ、日本、インド等の言葉）。それに付く“こころ”も飛び交うすばらしい空間。8時をまわる頃演奏と歌が加わりさらに盛り上がる、曲はアラブ民謡、カンツォーネ、Jポップ等いろいろ。合わせて歌う人踊る人多種多様。アラビアンナイトの如く、この語らいが永く続き、今求められる平和なやすらぎを共有してもらえたらと、毎月1回開かれる。

多国の老若男女が集うこの会からすてきなカップルも生まれたとか…。

オーナー夫妻もチュニジア、日本と遠い存在だったが互いの異文化への関心がふたりを結んだとのこと。

10時を過ぎると20人程の参加者は三々五々家路につく。

“See you again soon !!”

※1 ハラール…アラビア語で許されたという意味。イスラムの教えにもとづき、さばいた肉（豚は禁じられている）を使い、酒分を含まない料理のこと
※2 チュニジア料理…トマト、オリーブオイルをふんだんに使いハリッサ（唐辛子を元にしたチュニジア特有の調味料）で味付けをしたものが多い

チュニジアの歴史がそのまま料理に

遠く地平線のかなたに浮かぶ蜃気楼…魔法のじゅうたんがゆっくりと舞っている、そして舞い降りた所が夢の国チュニジア。日本人なら誰でも神秘を感じるアラブの、そんな情景を心に描きながら、料理を口にはこぼらしさを味わっては！

“いらっしやいませ！”と人なつっこいオーナーシェフが幻の遠い異国との距離を埋めてくれる。でも料理は本格的ハラールのチュニジア料理、日本風な手を加えず日本との距離をおいている。“歴史の変遷で積重ねられた独特なコクのある料理を日本の皆さんにも味わってなじんでほしい”とオーナーの言葉。

昨秋、東京都主催「東京味わいフェスタ2017 in 臨海副都心」でも出店要請を受け、広く料理を紹介した。味も国際交流で日本人の味覚域が広がり、新しい料理分野開発の発露になるかもしれない。



フルーティーなフレーバーのシーシャ（ホタバコ）



オーナーシェフのカイズ・ベルハージュさんと文子夫人
英国留学を経て各国で仕事を、現在夫人と日本在住
料理も接客も2人でこなす



日本滞在中のため交流会等を手伝っている、オーナーの姉と姪



サラダチュニジアン…ミント、レモン、オリーブをきかせた、すっきりとした味



タヒーナ…ヒヨコ豆とゴマのクリーミーなパン用ペースト、アラブのおふくろの味



ブリック…半熟たまごの入ったチュニジア風春巻



クスクス…ベルベル人の伝統料理、世界最小のkok深いパスタにシーフードや肉野菜をのせたもの



Information

ラ・メゾン・ド・クスクス 芝公園 2-10-4
TEL 03-6435-8684

文・デザイン案：中原 たづ子 写真：米原 剛

ラクダの写真提供：（株）道祖神

訪ねてみませんか？ 『東京都人権プラザ』

都営地下鉄三田線「芝公園駅」A1出口から、金杉橋へ向かって徒歩3分の所にガラス張りの「東京都人権プラザ」があります。入口には、パラリンピックで使用した競技用の車いすをはじめ、さまざまなパラスポーツの用具が展示されています。

今回「東京都人権プラザ」を管理運営する「公益財団法人・東京都人権啓発センター」の事務局長 西浜敦彦さんにお話を伺いました。

「人権プラザ」とは何ををするところですか？
歴史もお聞かせください。

当センターの前身である「財団法人東京都同和事業推進協会」が昭和46年(1971)、基本的人権にかかわる課題である同和問題解決のために、東京都によって設立されました。今日の社会においては、同和問題だけでなく、女性、子ども、高齢者、障害者、アイヌの人々、外国人、HIV感染者などに対する差別や人権侵害が大きな課題になっており、平成10年(1998)に当センターが協会を改組して設立されました。設立以来、同和問題をはじめとする人権問題解決のため、人権に関する教育、啓発及び人権の擁護等の事業を実施し、都民の人権意識の高揚を図るという目的のもとに事業を行っています。当センターが管理運営する人権プラザは、都の人権啓発拠点であり、平成29年(2017)2月16日、台東区から港区芝二丁目に移転しました。



人権に関する一万冊の図書、DVD、そしてマンガも揃った図書資料室。マンガのなかには『カムイ伝』『ターリンは外国人』『リアル』といった作品が並ぶ。

業を行っています。当センターが管理運営する人権プラザは、都の人権啓発拠点であり、平成29年(2017)2月16日、台東区から港区芝二丁目に移転しました。

具体的な活動を教えてください。

多様な人権問題の解決に向けて、人権に関する普及、啓発、相談等の事業を推進しています。具体的には一階フロアでは「気づく」⇒「理解する」⇒「体験する」⇒「交流する・深める」のそれぞれの「ゾーン」ごとに目で見えて分かりやすく展示をしています。啓発イベントとして2月に小学生以上の子どもを対象に実施した「読み聞かせ」は、好評のうちに終了しました。また企画展示室では「じんけんのほん」の展示を3月24日まで行っています。関連イベントではテレビでもおなじみの憲法学者の木村草太さんのトーク、上映会等の催しが行われました。4月からは写真展も予定しています。

一階の展示室コーナーでは、専門員の坂井新二さんが案内してくださいました。

「展示コーナー」と「体験コーナー」「セミナールーム」「企画展示室」とさまざまなゾーンがありますね。

展示コーナーには「17の人権課題」が分かりやすく展示され、「体験ゾーン」では高齢者、障害者、妊婦が感じているバリアの一部が体験できるようになっています。人権に関する相談も無料で受け付けています。2階の図書資料室は本の貸し出しも行っており、ぜひ多くの方々に利用頂きたいですね。



明るい正面入口の東京都人権プラザ。台東区から昨年2月に移転しました



わかりやすく説明して下さった西浜事務局長

「東京都人権プラザ」は入場無料、イベントもすべて無料です。一度ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。



車いすでは自動販売機も使えないと判明。そしてドアの開閉にも一苦労



タブレットを使いゲームをしながら小学生も楽しく学べます

Information

東京都人権プラザ
芝 2-5-6 芝 256 スクエアビル 1・2 階
TEL 03-6722-0123 (FAX 03-6722-0084)
開館時間：9:30~17:30
休 館 日：日曜日・年末年始
<http://www.tokyo-hrp.jp>

アクセス
都営地下鉄三田線「芝公園駅」A1 出口から徒歩 3 分
車いす・ベビーカー等ご利用の方は A3 出口エレベーターをご利用ください

取材・文：伊藤 早苗

フィンランドタンゴ&ダンスが体験できる 唯一無二のコミュニティカフェが 「ご近所ラボ新橋」にあります♪

フィンランドと聞くと何を思い浮かべますか？
洗練された北欧デザイン、美しい森と湖、あるいはムーミンのふるさとでしょうか。
でも実は、音楽大国であり、そしてタンゴ先進国でもあるのです。

フィンランドの若者たちも楽しんでいるタンゴやダンスをTin Tin Tango Café(ティン・ティン・タンゴ・カフェ)でみなさんも体験してみましょう♪(写真はイメージです)



フィンランドには古くから国民に親しまれている「ラバタンシ」というダンスカルチャーがあり、各地にあるダンス会場で、幅広い世代の方が気軽にダンスを楽しみ、親睦を深め、地域交流の輪を広げています。「ラバタンシ」にはさまざまな種類のダンスがありますが、その代表的なものがフィンランドタンゴです。タンゴといえばアルゼンチンタンゴの情熱的な踊りを連想しがちですが、フィンランドタンゴは音楽も踊り方もアルゼンチンとは異なる独特のスタイルを持ちます。シャイな方が

多いフィンランドで独自に進化してきたタンゴは、控えめで、ゆるやかで、誰もが気軽に楽しく踊ることが出来ます。親しみやすいメロディーと相まって、たとえダンスがまったく初めてという日本人の方にも受け入れやすいのが特徴です。

このフィンランドタンゴをどなたでも気軽に体験できる場が、港区の地域事業で運営されているご近所ラボ新橋にあります。その名も「Tin Tin Tango Café(ティン・ティン・タンゴカフェ)」。

平成28年(2016)10月から始まったこのコミュニティカフェには、若い人たちやお子さま連れから、社交ダンスやアルゼンチンタンゴの経験者、あるいは昔懐かしいタンゴ喫茶に通われたことがあるシニアの方まで、さまざま

みな顔ぶれの方々が来場されています。そしてフィンランドタンゴのダンスや音楽を楽しみながら、ゆるやかに世代を超えた交流を深め、その輪を広げています。また、ご近所の妊婦さんたちから「マタニティタンゴ」としても親しまれ、その後、参加者が元気な赤ちゃんを出産されたという微笑ましいエピソードもありました。

来場者のみなさまに気軽にフィンランドのタンゴやダンスカルチャーに触れて、ラバタンシの雰囲気を楽しんでいただけるよう、スタッフの方々は工夫を凝らしています。

日本ではまだほとんど知られていないフィンランドタンゴ&ダンスですが、ぜひ一度、Tin Tin Tango Caféに立ち寄って体験されてみてはいかがでしょうか。もちろん見学だけでもOKですよ。

取材・文・写真：田岡 恵美

Information

『Tin Tin Tango Café』
ご近所ラボ新橋（港区芝地区総合支所 × 慶應義塾大学）
新橋 6-4-2 きらきらプラザ新橋 1F
TEL 03-6459-0789（開催日のみ）
※開催日：毎月第3水曜日 17:00～21:00、第3水曜日 12:00～17:00
※開催日の変更や追加になることもありますので、インターネットで『ご近所ラボ新橋』と検索し、ご近所ラボ新橋 HP、Facebook ページからカレンダーをご覧ください。



麻雀教室

麻雀未経験者を対象とした教室です。新橋麻雀業組合の組合員が講師を務め、ルールから始まり、「役」や点数の計算方法まで、丁寧に教えてもらえます。座学のあとは4人で雀卓を囲みます。麻雀は人とコミュニケーションをとりながら、「役」を考え、また指先を動かすため、認知症予防に効果があるとされています。毎年、前期・後期の2回開催していますが、毎回定員を超える申込みがあり、大変人気のある教室となっています。

臨床美術講座



今回は、三田いきいきプラザで行っている、利用者の要望を受けて開催となった講座、また高齢者相談センターと連携し、館外で実施している講座などをご紹介します。

取材・文・写真：米原 剛

臨床美術とは、絵やオブジェといった作品を作る際に、題材となる物の内部はどうなっているのか、またその育ち方や動き方などを想像しながら作品に向き合うことで、脳を活性化させ、介護予防や認知症の予防・改善等に効果が期待できる芸術療法の一つです。美術に苦手意識を持つ方も参加されているのもこの講座の特徴で、作品それぞれから、その方にしかできない表現手法を見出すことができます。また作品が手元に残ることも、参加者にとって魅力となっています。今年度、「ほのぼの作品展」などで展示されました。



出前講座



パソコン教室

平成27年(2015)から高齢者相談センターとともに、都営住宅のサロンスペースを活用し、周辺住民の方に向けて、いきいきプラザの紹介や簡単な運動指導などを行う、出前講座を実施しています。

現在では、来館者のリクエストを受けて、マンションなどの集合住宅内にあるサロンスペースに出向いての講座も実施しており、回数も増えているとのこと。

講座内容も運動指導のみならず、栄養講座や絵手紙講座など多岐に渡っているとか。その内容もいきいきプラザの周知や紹介だけでなく、マンションの住民同士の繋がりを深めたり、地域の自主的な活動の後押しとなっています。



都営住宅での出張講座「チューブを使った体操教室」



近隣マンションで開催された「出張体操教室」

Information

芝地区いきいきプラザ3館では、共通の講座に加えて、各館の特色を生かした独自の講座が開催されています。講座内容も豊富に揃っているため、ご自身の趣味を深めたり、また生きがいになるような講座がきっと見つかります。内容についてのお問い合わせは各館にどうぞ。

三田いきいきプラザ
芝4-1-17 TEL 03-3452-9421
神明いきいきプラザ(プラザ神明)
浜松町1-6-7 TEL 03-3436-2500
虎ノ門いきいきプラザ(とらトピア)
虎ノ門1-21-10 TEL 03-3539-2941



●写真・資料提供 指定管理者：百葉の会・東急コミュニティー共同事業体

芝・桜さんぽマップ

今年も桜の季節になりました。
江戸時代、増上寺を中心に観光地としても栄えた芝のまちへ、
今も多くのお寺や神社が残り、また公園も多く、たくさんの方の桜の花に出会えます。
そんな芝の桜の特徴は、桜を見上げると多くの場所から東京タワーと一緒に臨むことができること。
このコントラストは芝地区ならでは景色です。
この「芝・桜さんぽマップ」を参考に芝の桜たちと会いに行きませんか？
そして、好きな景色と出会ったら写真に収めてあなたの桜さんぽの思い出にしてください。

取材・文・写真：森田 友子

② 三田小山町児童遊園



この10年ほどの間に、タワーマンションが増えた赤羽橋から麻布十番への通りですが、その南側にあり三田の旧町名を残す小さな児童遊園が三田小山町児童遊園です。広場の一角にある桜の横にはテーブル付きのベンチもあり、お花見しながらのおやつタイムもおおすすめです。

⑧ 愛宕山と愛宕神社



標高26mの愛宕山は、自然の山としては23区で最高峰です。その昔は頂上から芝の町並の彼方に江戸湾も見渡せました。山全体を桜の花が覆う春の様子は今も昔も変わらず、愛宕神社に訪れる参拝客と花見の人々で賑わっています。当時の様子は、歌川広重や歌川国芳の錦絵にも見ることができます。右は歌川広重による「江都 名所芝あたご山」。山の向こうには芝の海が広がっています。（国立国会図書館デジタルコレクションより）

⑨ 愛宕トンネル



愛宕山の下を通る愛宕トンネル付近も、見逃さない絵になるポイントです。愛宕山を登るのに便利なトンネル脇のガラス張りのエレベーターから眺める桜も、息を飲むほどの美しさ！動画撮影にもおすすめです。また愛宕トンネルから青松寺、愛宕グリーンヒルズへの道も、桜の枝が空を覆い、さまざまな桜の表情を楽しむことができます。

⑩ 都立芝公園



都立芝公園には、約140本の桜の木があります。御成門側にはベンチが多く、ランチタイムを過ごすのもおすすめです。また東京タワーへ向かって並ぶ街路灯の間を抜けて行くと、グループでのお花見にもぴったりな、桜に囲まれた広場に出ます。東京プリンスホテルの裏を道なりに行くと、左手に見えて来る弁天池周囲でも桜を楽しむことができます。芝東照宮の裏側には、5世紀頃に造られた芝丸山古墳がありますが、中腹の広場は知る人ぞ知るお花見スポット。歴史マニアの方はぜひ登ってみてください。

⑪ 増上寺



桜さんぽで外せない名所、それが増上寺です！なかでもその華やかさに目を見張るのが、境内の両側に咲き誇る数本の枝垂桜。昭和の名優、長谷川一夫氏が愛し、自宅から増上寺へ移された桜もあるそうです。境内にはソメイヨシノなど約200本もの桜があり、芝の景色に彩を添えています。

⑦ 新虎通りと南桜公園



平成26年（2014）に完成した新虎通りは、新橋と虎ノ門をつないでいます。虎ノ門ヒルズ近くの沿道に植えられた、まだ若いヤマザクラの木々を見守りながら歩きましょう。新虎通り北側にある南桜公園は、虎ノ門ヒルズをバックに桜を眺められ、周辺に勤める人々に憩いの空間となっています。



※写真はすべて過去に撮影したものです。
写真協力：旧芝離宮恩賜庭園
芝地区公園・児童遊園指定管理者
（アメニス・ケイミックス・日比谷花壇グループ）

① 区立芝公園



日比谷通り近くでは、「港区政70周年」を記念して、一昨年植樹されたカンザクラの若木が葉の花に囲まれて迎えてくれます。また同公園の広い芝生では、お弁当を広げるのもいいですね。公園奥からザ・プリンス パークタワー東京の庭園に出ると、こちらも芝生の広場がお出迎え。そびえる東京タワーと桜のコントラストが楽しめます。

④ 浜松町四丁目児童遊園



第一京浜国道沿いにある浜松町四丁目児童遊園は、園内中央のソメイヨシノが、忙しく行き交う人々の目を楽しませています。

⑤ 都立竹芝ふ頭公園

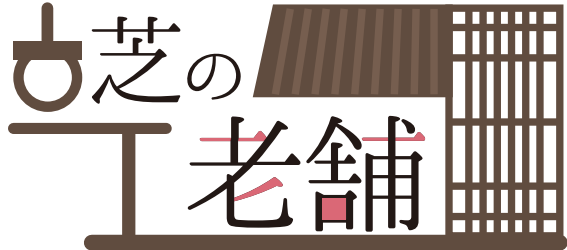


都立竹芝ふ頭公園は、お花見の穴場。船のマストが目印の広場を囲む遊歩道の、桜の花越しに海を眺めることができます。ここでき楽しむことができない芝の浜ならではの景観です。

⑥ 旧芝離宮恩賜庭園



旧芝離宮恩賜庭園は、JR浜松町駅の線路脇にあります。江戸時代の、大久保忠朝の回遊式泉水庭園の美しさも、今も残されています。池の周りを彩る桜と、世界貿易センタービルなどとの対比や、池に写り込んだ桜の美しさはこの庭園ならではの趣です。



芝の味を創作
「芝榮太樓」

第一京浜の大通りから一筋入った芝神明商店街に暖簾を構える老舗の和菓子店「芝榮太樓」。日本橋の本店「榮太樓總本舗」から暖簾分けを許された初代の内田長吉は、本店とは別の土地で新たに商売をしたいと、明治18年(1885)に芝神明支店として開店。創業から同じ地で営む店舗の看板には本店と同じ「榮太樓」が記された松の意匠に「芝」の文字が付きます。

5つの味わいを楽しめる小さい最中

明治35年(1902)、初代は小型の最中を考案します。種の型は貝殻、色は焦、中餡に漉、漬、白、胡麻、柚子の5つの味を揃えました。親戚の画家武内桂舟を通じ、芝仲門前に生まれ神明町で育った小説家の尾崎紅葉に最中の名を付けてもらいます。掛け紙には紅葉が命名し自ら書いた「江の嶋」の文字と、桂舟の木版画が描かれました。

明治45年(1912)に58歳にして他界した初代が残した言葉は「家内和合」。今も内田家に残っています。



1世紀以上続く芝榮太樓の逸品「江の嶋最中」。昭和60年ごろにいち早く個別包装を取り入れ、和菓子の可能性を広げました

初代の下で修業を積んだ娘婿の二代目長吉には、4人の娘と後の三代目となる以志夫さんが生まれました。大正12年(1923)の関東大震災後の火災で家屋や店を焼失するも、昭和2年(1927)、店を復興。しかし昭和16年(1941)に始まった大戦による空襲で再び家も店も失います。こうした大変な時代をくぐり抜け、昭和21年(1946)に復員した以志夫さんとともに、昭和29年(1954)、芝榮太樓を復活させる準備を始めます。当時33歳の以志夫さんは、菓子製造を父から一対一で教わりました。そして昭和30年(1955)1月30日、衛生完備のコンクリートを土台とした、不燃性の工場のある店舗で新装開店します。戦後の統制も終わり、製菓原材料が自由に選べることで、安全安心な精選した諸材料による菓子を提供できるようになりました。

昭和38年(1963)、二代目長吉が老衰のため他界。店を切り盛りする以志夫さんは時代の変化を体感したようです。

「戦後、穏やかな時代になると、親が子どもにピアノやバレエや日舞を習わせるようになりまし

た。発表会のための和菓子の注文では、出し物にちなんだお菓子を作るのが楽しかった」と思い出を語っています。創業100年を迎えた昭和60年(1985)、芝榮太樓ビルを竣工。店舗の正面を第一京浜ではなく、芝神明商店街側にしたのは、神明様にお尻を向けてはいけないという考えを守ったからだそうです。

五代目、六代目へと伝統を継ぐ

平成に入り、三代目と後の四代目となる息子の吉彦さんは、徳川家の菩提寺である増上寺の葵の紋章をかたどった大型の最中「葵玉梓」を考案し、各地の豆で試作を重ね、その豊かな風味から丹波の大納言を採用、販売。「玉梓」は、「恋文」の意を含み、大切な方からの便りのような菓子、頂いた方がまた大切な方に送りたいくなる菓子であって欲しいと願い命名しました。

そして、平成14年(2002)、吉彦さんに代を譲った以志夫さんは、今年5月に満97歳を迎えます。いまなお「芝榮太樓ビル」で「家内和合」を願い、老舗と家族を見守り続けています。



左) 四代目考案による、増上寺とゆかりの深い徳川家の葵の御紋をかたどった「葵玉梓」。丹波大納言の風味を楽しめる一品です。下) 和菓子を入れて運ぶ芝榮太樓のばんじゅう。昔の町名である芝神(芝神明町/現芝大門)と榮太樓の文字が書かれています



芝榮太樓ビルの外壁にある「芝榮太樓」の文字は芸術家岡本太郎さんの手によるもの。戦時中、三代目以志夫さんと同じ部隊だった縁より、お祝いとして贈られました



四代目を継いで16年目を迎えた内田吉彦さん。「時代に合ったお菓子を提案していきたい」と話します

五代目を目指す娘婿隆樹さんは、目下、職人としての腕を磨いているとか。芝公園で無邪気に遊ぶお孫さんが六代目を継ぐころになっても、いまのように安全安心で居心地がいい芝の街で、信頼され、愛される菓子業を続けていることを吉彦さんは願っています。

「芝榮太樓」には、地元や国内外の観光客が熱心に足を運んでいます。「和合」が世界に広がることを願います。



五代目隆樹さんが「工芸菓子」の授業で制作したもの。すべて和菓子の材料でつくられています



取材：森 明／早川 由紀
文：早川 由紀
参考：芝 榮太樓のおはなし

Information

芝榮太樓
芝大門 1-4-14
TEL 03-3431-2211



大野 正晴さん
昭和26年(1951)生まれ。39年間、新橋タカトク金物株式会社に勤務。
「新橋で生まれ育ちましたので、特に港区、芝地区には愛着を持っています。この地域には歴史的な名跡が多いうえに、新名所もあり、興味深いエリアです。芝地区の“心に感じる”素敵な風景を見出して描いてきました」



絵・文：大野 正晴

町会・自治会トピックス

『新七 残しておきたい心の風景 ～新橋七丁目町会85年の歩み』発刊 ＜新橋七丁目町会＞



※冊子をご希望の方には町会で頒布いたします(ただし数に限りがあります)。詳しくは芝地区総合支所協働推進課まで

芝大神宮の例大祭連合渡御(神輿が進むこと)で「新七」＝新橋七丁目の粋な半纏とお神輿を見たことがある人は多いはず。しかし現在、この町名を地図で見ることではできません。
新橋七丁目は昭和7年(1932)に町名と町会が誕生しました。昭和40年(1965)の住居表示制度により現在の新橋6丁目に合併されましたが、区域と町会名は以前のままだ、地域活動を続けています。平成29年(2017)1月には、町会創立85周年を記念して冊子が発刊されました。
町会の今井勝雄会長は「新橋地区は再開発により次々と変化しています。それに伴い、わがまちの様子を記憶に留めることや、語り継ぐことが難



しくなってきました。そこで、まちの歴史と町会活動の歩みを記録に残したいと考えました」と語ります。

町会員や以前住んでいた方々、地元企業や団体、行政機関等の協力を得て、写真や資料集めに奔走。またご高齢の方からの思い出話を丁寧にお聞きし、冊子にまとめ上げた力作です。

町会は、今後も新旧住民が「新七」に対して、より愛着を持って交流し、そして支え合えるよう、さまざまな活動に取り組んでいくとのこと

文：芝地区総合支所協働推進課
協力：新橋七丁目町会



区立御成門中学校が東京都教育委員会より「平成29年度東京都教育委員会生徒表彰」等を受賞!!

御成門中学校の生徒が以前から取り組んでいるさまざまな活動が認められ、東京都教育委員会より「平成29年度東京都教育委員会生徒表彰」を受賞し、「生徒会(=全生徒)」が表彰されました。同校では、図書委員会による子ども中高生プラザや区保育室での読み聞かせ、生徒会役員を中心とした生徒たちにより交通安全運動や募金活動、生徒ボランティアによる朝の清掃活動といった活動が続けられてきましたが、これら地道な活動が認められての表彰となりました。区内中学校17校の団体受賞のうち、生徒会としては4校だけの受賞です。

合わせて都教育委員会から、昨年度より同校が取り組んできた「言語能力向上教育の推進」も評価を受け、「平成29年度東京都教育委員会職員表彰団体賞」を受賞しました。この賞は中学校としては区内3校、23区では同校が唯一の受賞です。

さらに、同校PTAが公益財団法人日本PTA全国協議会より「平成29年度日本PTA全国協議会

会長賞」を受賞しました。同PTAは自然農園体験の実施、また学校行事におけるさまざまな場面での活動等を行っています。この表彰は単独のPTAとして都内唯一の受賞となりました。

今年度の御成門中学校に、喜ばしい話題が続きました。



授業でのグループワークディスカッション
「平成29年度東京都教育委員会職員表彰団体賞」



生徒による募金活動
「平成29年度東京都教育委員会生徒表彰」



自然農園体験の様子
「平成29年度日本PTA全国協議会会長賞」

芝地区地元3団体が区「『安全で安心できる港区にする条例』に基づく表彰」受賞

日ごろからまちの安全・安心活動に取り組み、その推進に貢献した「慶応仲通り商店会防犯パトロール隊」、「芝・三田地区防災協議会」、「ラ・ビスタ新橋地元連絡協議会 防犯カメラ管理運用委員会」(五十音順)が区より表彰を受けました。今年度、区全体で表彰された10団体中、芝地区から3団体の受賞です。そのほか芝地区の1事業所も表彰されました。

平成29年(2017)12月19日(火)、各団体代表は武井雅昭区長より表彰状を授与され、「今後も安全で安心なまちづくりを進めたい」と抱負を語りました。



左から/湯浅孝雄 慶応仲通り商店会防犯パトロール隊長、武井区長、大塚健太郎 ラ・ビスタ新橋地元連絡協議会防犯カメラ管理運用委員長、中島靖武 芝・三田地区防災協議会長

慶応仲通り商店会防犯パトロール隊

区や警察と連携して月1回の夜間パトロールを行い、放置自転車・看板や客引き行為の防止啓発を住民や商店会区域の商店・飲食店、来街者へ呼びかけています。



芝・三田地区防災協議会

月1回の勉強会や隣接する他地区防災協議会と連携した訓練や学習、地域の特徴把握を行い、地元町会・自治会と共に細やかな防災対策、改善を図っています。



ラ・ビスタ新橋地元連絡協議会 防犯カメラ管理運用委員会

地域住民、来街者の安全と犯罪抑止を目的に、新橋一〜四丁目に83台の防犯カメラを設置。警察からの捜査協力要請には、厳格な映像管理と手続きのもと対応しています。



買い物するなら地元の商店街で

Going shopping? Visit our local shopping streets.

●本誌の制作には以下の編集委員が参加しています
伊藤早苗/菊池弓可/桑原庸嘉子/柴崎賢一/柴崎郁子/田岡恵美/竹田和行/千葉みな子/中原たづ子/早川由紀/町田明夫/森明/森田友子/米原剛(五十音順 敬称略)

●今後の発行スケジュールは次の通りです
H30.6(第47号)、H30.9(第48号)、H30.12(第49号)、H31.3(第50号) ※各号発行月の20日ごろ

芝地区地域情報誌の配布について

芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1〜3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、地区内各施設などで配付しています

芝地区MAP

本誌に掲載した記事に出てくる施設などをまとめました。ウォーキングマップとしてご利用ください。



1〜20は旧町名由来板の設置場所

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 ラ・メゾン・ド・スクス → P1 | 6 虎ノ門いきいきプラザ → P2・3 |
| 2 東京都人権プラザ → P2 | 7 芝榮太樓 → P6 |
| 3 ご近所ラボ新橋 → P3 | 8 日本赤十字社本社(現) → P7 |
| 4 三田いきいきプラザ → P2・3 | 9 新橋七丁目町会 → P7 |
| 5 神明いきいきプラザ → P2・3 | 10 区立御成門中学校 → P8 |

港区芝地区総合支所協働推進課

〒105-8511 港区芝公園1丁目5番25号(港区役所1階)
TEL03-3578-3192 FAX03-3578-3180

ホームページ

<http://www.city.minato.tokyo.jp/>